

行動計画1：参画と協働による生物多様性保全活動の推進 <主体毎の行動計画>

愛知目標：1・4・5・9・12・14・15

SDGs：2・4・6・12・15・17

項目/内容	数値目標等										
	指標名/年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)	備考	
県民の参画と普及啓発											
<県民の参画推進> ・侵略的な外来生物早期発見・早期対応の推進(重) ・ひょうごの生物多様性保全プロジェクトへの参画促進 ・県民まちなみ緑化事業の推進 ・建築物及びその敷地の緑化義務づけ ・ひょうご花緑創造プランの推進 ・あわじ菜の花エコプロジェクトの推進 ・県民の参画による森林環境等の保全(農産漁村ボランティア、森林ボランティア等活動の推進) ・エコツーリズム・グリーンツーリズムの実施 ・環境に配慮した消費活動などライフスタイルの転換	ひょうごの環境ホームページ年間アクセス数	100 万件	100 万件	100 万件	100 万件	100 万件	100 万件	100 万件	88 万件	[定義]「ひょうごの環境ホームページ」の年間アクセス数 [目標数値の考え方]年間平均 88 万件のアクセス数を 100 万件(全県民の約 1/5)に増やす目標を設定	
	実績値	99 万件	109 万件								
	生物多様性アドバイザー登録数	41 人	43 人	45 人	47 人	49 人	51 人	53 人	37 人	[定義]専門的知識を有し、アドバイザーとして適切であると認められた者へ登録依頼し承諾を得た者の数 [目標数値の考え方]過去の実績を勘案し、年2人を目標として設定	
	実績値	34 人	34 人								
	ため池保全活動の参加者数	14,000 人	15,000 人	16,000 人	17,000 人	18,000 人	19,000 人	20,000 人	12,652 人	[定義]ため池保全活動の年間参加者数 [目標数値の考え方]ため池保全県民運動を進め、年間 1,000 人の参加者増をすすめる目標として設定	
	実績値	11,137 人	6,684 人								

<p><普及啓発の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民が生物多様性について学ぶ機会の提供 ・自然保護指導員による普及啓発 ・希少種や外来種についての意識啓発 ・生物多様性アドバイザーの活用推進 ・ひょうご森のまつり等の開催 ・食育を通じた生物多様性への理解促進 ・ホームページを活用した情報発信 ・県民の参画を促す NPO 等の活動情報の発信 	エコツーリズムハブ年間利用台数	300 台	300 台	300 台	300 台	300 台	300 台	300 台	300 台	<p>[定義]環境関連施設の視察などを通じて環境を学ぶエコツーリズムハブの年間利用台数</p> <p>[目標数値の考え方]近年の利用実績台数を維持</p> <p>[定義]「生物多様性ひょうご戦略」に基づき生物多様性保全プロジェクトに選定された団体の数</p> <p>[目標数値の考え方]直近5年間の選定数(約20団体)と同程度を設定</p> <p>[定義]研修会、シボジウムなどにより養成された、生物多様性の保全を推進することができる指導者の数</p> <p>[目標数値の考え方]過去の実績を勘案し、年30人を目標として設定</p>	
	実績値	291 台	122 台								
	生物多様性保全プロジェクト団体数	81 団体	84 団体	87 団体	90 団体	93 団体	96 団体	100 団体	75 団体		
	実績値	90 団体	91 団体								
	指導者養成数	460 人	490 人	520 人	550 人	580 人	610 人	640 人	395 人		
	実績値	418 人	434 人								
	温暖化適応策の県民への認知度	41.7 %	43.1 %	44.4 %	45.8 %	47.2 %	48.6 %	50.0 %	37.5 %	<p>[定義]県が実施する県民意識調査における適応策の認知度</p> <p>[目標数値の考え方]県民の半数が認知することを目標として設定</p>	
	実績値	38.2 %	47.2 %						(2016)		
	うちエコ診断受診数(累計)	9,000 件	10,000 件	11,000 件	12,000 件	13,000 件	14,000 件	15,000 件	7,060 件	<p>[定義]兵庫県地球温暖化防止活動推進センター(公財)ひょうご環境創造協会が実施する「うちエコ診断」の受診家庭数</p> <p>[目標数値の考え方]年間1,000件を目標として設定</p>	
	実績値	10,390 件	11,235 件								

		森林ボランティアリーダー数	900 人	950 人	1,000 人	1,000 人	1,000 人	1,000 人	1,000 人	813 人	[定義]基礎的な森づくりの作業を安全かつ的確に指導・監督できる人材数 [目標数値の考え方]ボランティア1万人に対し1,000人を確保・維持
		実績値	905 人	985 人							
項目/内容		数値目標等									
NPO等との連携、協働、活動支援		指標名/年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)	備考
<連携・協働の推進> ・ひょうごecoフォーラムの開催 ・「見守り隊」の登録 <活動支援の推進> ・活動発表会とシンポジウムの開催 ・「生物多様性ひょうご基金」による支援		生物多様性保全プロジェクト団体数(再掲)	81 団体	84 団体	87 団体	90 団体	93 団体	96 団体	100 団体	75 団体	[定義]「生物多様性ひょうご戦略」に基づき生物多様性保全プロジェクトに選定された団体の数 [目標数値の考え方]直近5年間の選定数(約20団体)と同程度を設定
		実績値	90 団体	91 団体							
		見守り隊登録数	39 団体	41 団体	43 団体	45 団体	47 団体	49 団体	51 団体	37 団体	[定義]特定の貴重種の保全や外来種の駆除等の活動をしている団体の数 [目標数値の考え方]貴重種、外来種に係る団体各1団体ずつ増加を目標として設定
		実績値	45 団体	46 団体							
		生物多様性ネットワークに参画するNPO等の数	120 団体	125 団体	130 団体	135 団体	140 団体	145 団体	150 団体	110 団体	[定義]相互に交流や情報交換を行うネットワークに参画するNPO等の数 [目標数値の考え方]既存目標値達成に向けて毎年5団体ずつ増加を目標として設定
		実績値	134 団体	135 団体							

	自然を活かした川づくり年間整備率	90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0 %	90.0 %	87.2 %	[定義]コンクリートを使わない、あるいはコンクリートを使用するが環境に配慮した川づくり年間整備延長/年間河川整備延長×100 [目標数値の考え方]10年間の平均整備率90%以上を目標として設定
	実績値	89.9 %	80.5 %							
	環境保全に取り組むNPO法人数	506 法人	516 法人	527 法人	537 法人	548 法人	558 法人	569 法人	469 法人	[定義]環境の保全を図る活動を行っているNPO法人の数 [目標数値の考え方]2016年度(474法人)比20%増を目標として設定
	実績値	472 法人	487 法人							
項目/内容	数値目標等									
企業のCSR活動等の推進	指標名/年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2017	備考
<企業の生物多様性への配慮の促進> ・民間参画ガイドラインの普及 ・企業の生物多様性に関する事業活動の情報発信 ・中小企業や生物多様性に関わる業種以外の企業によるCSR活動の活発化	生物多様性支援拠点によるコーディネート件数	50 件	55 件	60 件	65 件	70 件	75 件	80 件	43 件	[定義]生物多様性支援拠点の情報提供によりコーディネートを行った数 [目標数値の考え方]過去の実績を勘案し、年5件を目標として設定
	実績値	48 件	48 件							
<活動支援の推進> ・企業の森づくり活動の推進	企業の森づくり参加企業数	42 社	44 社	46 社	48 社	50 社	52 社	54 社	36 社	[定義]兵庫県緑化推進協会を通じて「企業の森づくり」に参加する企業数 [目標数値の考え方]近年の参加状況(年間2社増加)を継続
	実績値	39 社	39 社							

<ul style="list-style-type: none"> ・貴重種の一時的避難所の確保 ・環境にやさしい事業者の顕彰 ・地域住民や県民、企業等との連携と協働を図る機会の提供 ・企業と土地所有者・活動指導者を結ぶコーディネートの実施 	自主的に環境保全に取り組む事業者数	1,591 事業者	1,616 事業者	1,641 事業者	1,667 事業者	1,692 事業者	1,717 事業者	1,742 事業者	1,512 事業者	<p>【定義】ISO14001 認証取得事業者、エコアクション 21 認証取得事業者、エコ・ファースト認定事業者、産廃優良認定処理業者の合計</p> <p>【目標数値の考え方】2016 年度(1,515 事業者)比 15%増を目標として設定</p>
	実績値	1,498 事業者	1,432 事業者							

行動計画2：人の営みと生物多様性の調和の推進 <場面毎の行動計画>

愛知目標：1・4・5・6・7・8・9・10・13・14

SDGs：2・11・12・13・14・15

項目/内容	数値目標等									備考	
	指標名/年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)		
生物多様性に配慮した農林水産業の振興											
<農業> ・環境創造型農業の推進 <畜産業> ・鳥インフルエンザ [※] ・口蹄疫・豚コレラ対策 <林業> ・県産木材の利用促進 ・木質バイオマスの利用促進 <水産業> ・瀬戸内海における生物生息場の再生・創出(重) ・瀬戸内海における栄養塩管理の推進(重) ・漂流・海底ごみの回収強化(重) <担い手育成の推進> ・農業・水産業の振興と生物多様	環境創造型農業の生産面積	34,000 ha	35,000 ha	35,400 ha	35,800 ha	36,200 ha	36,600 ha	37,000 ha	28,191 ha	[定義]化学的に合成された肥料及び農薬の使用を慣行の30%以上低減した生産面積 [目標数値の考え方]ひょうご農林水産ビジョン2025で描いた2025年の農業構造の展開と同じ担い手経営体への農地集積シェア(7割程度)と同程度に拡大することを目標として設定 [定義]化学合成肥料及び農薬を使用しない生産面積 [目標数値の考え方]これまでの増加傾向と耕地面積に占める有機農業面積の割合を全国トップクラスとなる国(0.5%)の約3倍程度に拡大することを目標として設定	
	実績値	20,429 ha	20,122 ha								
	有機農業の生産面積	980 ha	1,040 ha	1,080 ha	1,120 ha	1,160 ha	1,180 ha	1,200 ha	986 ha		
	実績値	1,024 ha	1,031 ha								

	性に配慮した担い手育成	地域ぐるみで農村環境保全活動を実施する面積	53,740 ha	54,870 ha	56,000 ha	—	—	—	—	50,866 ha	【定義】地域ぐるみの共同活動により農村環境の良質な保全を図る面積 【目標数値の考え方】農振農用地の約9割を目標として設定
		実績値	48,470 ha	50,604 ha							
		里山林整備面積	27,000 ha	28,000 ha	29,000 ha	29,600 ha	30,200 ha	30,800 ha	31,330 ha	25,813 ha	【定義】「新ひょうごの森づくり」に基づき整備した里山林の整備面積 【目標数値の考え方】2015年度(23,557ha)の約3割増を目標として設定
		実績値	28,207 ha	29,651 ha							
		間伐実施面積	163,000 ha	169,000 ha	175,000 ha	—	—	—	—	128,211 ha	【定義】「森林管理100%作戦」に基づき実施した間伐面積 【目標数値の考え方】2021年度までの「新ひょうごの森づくり」計画値を目標として設定
		実績値	125,804 ha	139,445 ha							
		木質バイオマス発電用燃料等供給量(県産木材)	170 千m ³	195 千m ³	195 千m ³	195 千m ³	200 千m ³	200 千m ³	200 千m ³	165 千m ³	【定義】県産木材を燃料として木質バイオマス発電所等に供給した量 【目標数値の考え方】既存発電所への木質バイオマス利用量に、今後計画が見込まれる新規発電所等の追加需要(25千m ³)を加えた値を目標として設定
		実績値	168 千m ³	225 千m ³							
		あわじ竹資源エネルギー化目標数値(竹チップ燃料の消費量)	500 t	500 t	500 t	—	—	—	—	205 t	【定義】竹チップを、ボイラー用燃料として消費した量 【目標数値の考え方】道路に隣接し、刈取り・搬出等の経費が採算ベースに抑えられる資源量
		実績値	93 t	109.7 t							

	漁場環境改善面積	5,375 ha	5,409 ha	5,443 ha	5,477 ha	5,511 ha	5,545 ha	5,579 ha	5,306 ha	<p>【定義】県内増殖場造成面積、魚礁漁場造成面積、浅場造成面積の合計</p> <p>【目標数値の考え方】水産資源を維持・増大させるために必要な増殖場等の造成計画を目標として設定</p>
	実績値	5,467 ha	5,546 ha							
	漁船漁業生産量	58 千t	58 千t	58 千t	58 千t	58 千t	58 千t	58 千t	56 千t (2016)	<p>【定義】県内の漁船漁業の生産量</p> <p>【目標数値の考え方】2013年の生産量を維持することを目標として設定</p>
	実績値	40 千t (2018)	41 千t (2019)							
	海面養殖生産量	67 千t	67 千t	68 千t	68 千t	69 千t	69 千t	70 千t	70 千t (2016)	<p>【定義】県内の海面養殖の生産量</p> <p>【目標数値の考え方】2013年の生産量(59千t)から20%増加することを目標として設定</p>
	実績値	81 千t (2018)	65 千t (2019)							
	増殖場整備箇所数(累計)	45 箇所	46 箇所	47 箇所	49 箇所	50 箇所	52 箇所	54 箇所	41 箇所	<p>【定義】稚魚の保護や育成の場となる県内の増殖場の整備箇所数</p> <p>【目標数値の考え方】水産資源を維持・増大させるために必要な増殖場の整備計画を目標として設定</p>
	実績値	44 箇所	46 箇所							
項目／内容		数値目標等								

日常生活や生業に被害を及ぼす野生動物への対処と棲み分けの推進	指標名／年 度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)	備 考
<p><新技術の活用></p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIS や ICT を活用した野生鳥獣対策の推進(重) ・ツキノワグマ生息数推計手法の確立 ・科学的で計画的な野生動物の保護管理(ワイルドライフ・マネジメント)の推進 <p>・狩猟者育成センターの整備</p> <p><鳥獣対策の推進></p> <ul style="list-style-type: none"> ・増えすぎた野生動物の適正捕獲の推進 ・シカ対策の推進 ・イシ対策の推進 ・クマ対策の推進 ・サル対策の推進 ・カワ対策の推進 ・野生動物生息環境の整備 	野生鳥獣による農林業被害額	475 百万円	462 百万円	449 百万円	436 百万円	423 百万円	410 百万円	397 百万円	502 百万円	<p>[定義]野生鳥獣により被害を受けた農作物及び造林木の被害金額</p> <p>[目標数値の考え方]2013年度(794百万円)比50%削減として設定</p>
	実績値	493 百万円	466 百万円							
	シカによる農林業被害額	169,715 千円	166,702 千円	163,689 千円	160,676 千円	157,663 千円	154,650 千円	151,637 千円	175,737 千円	<p>[定義]シカにより被害を受けた農作物及び造林木の被害金額</p> <p>[目標数値の考え方]2013年度(303,274千円)比50%削減として設定</p>
	実績値	154,546 千円	149,631 千円							
	シカの日撃効率	本州 1.2 淡路 1.2	本州 1.1 淡路 1.1	本州 1.0 淡路 1.0	本州 0.9 淡路 0.9	本州 0.8 淡路 0.8	本州 0.7 淡路 0.7	本州 0.6 淡路 0.6	本州 0.6 淡路 0.6	<p>[定義]銃猟時に1人の狩猟者が1回の出猟で目撃したシカの頭数の平均値</p> <p>[目標数値の考え方]農業被害半減以上、森林下層植生回復目安の日撃効率0.5(2026年度)を目指して設定</p>
	実績値	本州 1.2 淡路 0.4 (2018)	1.46 (2019)							

	シカの捕獲頭数	46,000 頭	46,000 頭	46,000 頭	—	—	—	—	37,676 頭	【定義】第2期ホジが管理計画に基づき県内で捕獲されたシカの頭数 【目標数値の考え方】目撃効率1.0以下(2021年度)を早期に達成するための捕獲数を目標として設定
	実績値	40,937 頭	47,186 頭							
	シカ処理加工頭数	8,000 頭	9,000 頭	10,000 頭	10,000 頭	10,000 頭	10,000 頭	10,000 頭	4,755 頭	【定義】捕獲したシカのうち、処理加工し有効活用した頭数 【目標数値の考え方】県内処理加工施設(予定含む)の処理能力を勘案し、年1万頭を目標として設定
	実績値	8,367 頭	10,203 頭							
	イノシシによる農業被害額	170,560 千円	164,566 千円	158,572 千円	152,578 千円	146,584 千円	140,590 千円	134,596 千円	182,548 千円	【定義】イノシシにより被害を受けた農作物の被害金額 【目標数値の考え方】2013年度(269,191千円)比50%削減として設定
	実績値	182,903 千円	181,862 千円							
	イノシシの捕獲頭数	20,000 頭	20,000 頭	15,500 頭	—	—	—	—	16,429 頭	【定義】第2期イノシシ管理計画に基づき県内で捕獲されたイノシシの頭数 【目標数値の考え方】農業被害半減目安の目撃効率0.2以下を達成するための捕獲数を目標として設定
	実績値	22,957 頭	22,926 頭							
	新規狩猟免許取得者数	600 延べ人	600 延べ人	600 延べ人	600 延べ人	600 延べ人	600 延べ人	600 延べ人	632 延べ人	【定義】新規狩猟免許取得者の延べ人数 【目標数値の考え方】2017年度並の新規狩猟者数を維持
	実績値	727 延べ人	323 延べ人							

	鳥獣被害防護柵延長	9,000 km	9,500 km	10,000 km	10,500 km	11,000 km	11,500 km	12,000 km	8,852 km	[定義]県内に設置された鳥獣被害防止のための防護柵の長さ [目標数値の考え方]過去の実績延長を勘案し、年500kmを目標として設定	
	実績値	9,729 Km	10,183 Km								
項目/内容		数値目標等									
健康や生活に悪影響を及ぼす外来生物対策の推進	指標名/年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)	備考	
<早期防除の推進> ・侵略的な外来生物早期発見・早期対応の推進(重)(再掲) <防除の推進> ・アライグマ等の捕獲強化 ・外来生物の適正な駆除	アライグマ・ヌートリアによる農業被害額	66,100 千円	64,200 千円	62,300 千円	60,400 千円	58,500 千円	56,600 千円	54,687 千円	69,651 千円	[定義]アライグマ・ヌートリアにより被害を受けた農作物の被害金額 [目標数値の考え方]2013年度(109,374千円)比50%削減として設定	
	実績値	アライグマ 49,613 千円 ヌートリア 5,344 千円	アライグマ 43,223 千円 ヌートリア 8,874 千円								
	アライグマ・ヌートリア捕獲頭数	アライグマ 6,000頭 ヌートリア 1,000頭	アライグマ 6,000頭 ヌートリア 1,000頭	アライグマ 6,000頭 ヌートリア 1,000頭	アライグマ 6,000頭 ヌートリア 1,000頭	アライグマ 6,000頭 ヌートリア 1,000頭	アライグマ 6,000頭 ヌートリア 1,000頭	アライグマ 6,000頭 ヌートリア 1,000頭	アライグマ 6,000頭 ヌートリア 1,000頭	アライグマ 4,561頭 ヌートリア 1,000頭	
	実績値	アライグマ 6,204頭 ヌートリア 1,065頭	アライグマ 7,639頭 ヌートリア 949頭								[定義]県内で捕獲されたアライグマ・ヌートリアの頭数 [目標数値の考え方]毎年の捕獲実績を勘案し、年間7,000頭を目標として設定

項目／内容	数値目標等									
	指標名／年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)	備考
地球温暖化の防止と適応の推進 <緩和策の推進> ・日常生活や経済活動からの温室効果ガス排出削減(重) <適応策の推進> ・気候変動の影響による被害を回避・軽減する「適応策」の推進(重)	温室効果ガス排出量【2013年度比】	▲4.3 %	▲5.0 %	▲7.2 %	▲9.3 %	▲11.5 %	▲13.6 %	▲15.8 %	▲4.7 % (2015)	[定義] 県内の温室効果ガス排出量(2013年度比) [目標数値の考え方] 兵庫県地球温暖化対策推進計画に基づき目標値を設定
	実績値	▲8.7 % (2017)	▲11.4 % (2018)							
	温暖化適応策の県民への認知度(再掲)	41.7 %	43.1 %	44.4 %	45.8 %	47.2 %	48.6 %	50.0 %	37.5 % (2016)	[定義] 県が実施する県民意識調査における適応策の認知度 [目標数値の考え方] 県民の半数が認知することを目標として設定
	実績値	38.2 %	47.2 %							
	再生可能エネルギーによる発電量	45.9 億 kWh	50 億 kWh	53 億 kWh	56 億 kWh	59 億 kWh	62 億 kWh	65 億 kWh	36 億 kWh	[定義] 兵庫県地球温暖化対策推進計画に基づき集計された県内の再生可能エネルギーによる発電量 [目標数値の考え方] 兵庫県地球温暖化対策推進計画に基づき目標値を設定
	実績値	41.6 億 kWh	47.0 億 kWh							
	LED照明を導入している県庁舎割合	65 %	68 %	71 %	74 %	77 %	80 %	83 %	45 %	[定義] LED照明を導入している県庁舎の割合(一部特殊照明等を除く) [目標数値の考え方] 2030年度までに全ての県庁舎の照明をLED化することを目標として設定
	実績値	66.7 %	76.2 %							

	うちエコ診断受診数(累計)(再掲)	9,000 件	10,000 件	11,000 件	12,000 件	13,000 件	14,000 件	15,000 件	7,060 件	<p>[定義]兵庫県地球温暖化防止活動推進センター(公財)ひょうご環境創造協会)が実施する「うちエコ診断」の受診家庭数</p> <p>[目標数値の考え方]年間1,000件を目標として設定</p>
	実績値	10,390 件	11,235 件							

行動計画3：生物多様性に支えられる地域の多様な自然と文化を守り育てる仕組みの確立 <地域資源毎の行動計画>

愛知目標：1・2・4・5・7・11・14・15

SDGs：6・11・12・15・17

項目/内容	数値目標等									備考	
	指標名/年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)		
自然公園等の制度を活用した自然の保全											
<許可制度の活用> ・太陽光発電施設等と地域環境との調和に関する条例に基づく届出制度の活用(重) ・大規模開発及び取引事前指導要綱に基づく協議制度の活用(重) ・事業活動による生物多様性への影響評価を行う企業の取組の促進(重)	県内の自然公園年間利用者数	37,100 千人	37,500 千人	37,500 千人	37,500 千人	37,500 千人	37,500 千人	37,500 千人	36,495 千人	[定義]県内で指定されている自然公園の年間利用者数 [目標数値の考え方]国立公園は直近5箇年の最高値、国定公園及び県立自然公園は平均値を目標値として設定	
	実績値	37,235 千人 (2018)	36,818 千人 (2019)								
・自然公園の行為許可制度の活用 ・保安林・林地開発許可制度の活用 <指定制度の活用> ・自然環境保全地域・郷土記念物等の指定制度の活用	自然公園内のビジターセンター利用者数	152,000 人	158,500 人	165,000 人	165,000 人	165,000 人	165,000 人	165,000 人	137,389 人	[定義]六甲山ビジターセンター、黒川自然公園センター、とのみね自然交流館の年間利用者数 [目標数値の考え方]「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」に基づき目標値を設定	
	実績値	164,794 人	172,319 人								
	六甲山ビジターセンター利用者数	73,000 人	79,500 人	86,000 人	86,000 人	86,000 人	86,000 人	86,000 人	52,684 人	[定義]六甲山ビジターセンターの年間利用者数 [目標数値の考え方]「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」に基づき目標値を設定	
	実績値	77,611 人	60,675 人								

項目／内容	数値目標等									
	指標名／年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)	備考
里地・里山や人工林の適切な管理										
<計画・構想の推進> ・新ひょうごの森づくりによる森林の適正管理(重) ・災害に強い森づくりによる森林の防災機能強化と野生動物の生息環境整備(重) ・ため池及び疎水の保全と活用(重) <既存資源の利活用> ・エネルギーや新素材への利活用など 森林資源の高度利用の促進 ・あわじ島竹取物語プロジェクト ・あわじ竹資源エネルギー化の支援 <森林保全> ・森林保全対策の推進 ・企業の森づくり活動の推進(再掲) ・六甲山系グリーンベルト整備事業の推進	里山林整備面積(再掲)	27,000 ha	28,000 ha	29,000 ha	29,600 ha	30,200 ha	30,800 ha	31,330 ha	25,813 ha	[定義]「新ひょうごの森づくり」に基づき整備した里山林の整備面積 [目標数値の考え方]2015年度(23,557ha)の約3割増を目標として設定
	実績値	28,206 ha	29,651 ha							
	災害に強い森づくり整備面積	34,000 ha	35,800 ha	37,700 ha	39,400 ha	41,100 ha	42,900 ha	44,700 Ha	31,290 ha	[定義]災害に強い森づくり事業計画(第3期)に基づき整備した面積 [目標数値の考え方]災害に強い森づくり第3期対策(2021年度まで)計画値を目標として設定
	実績値	35,260 ha	37,299 ha							
	間伐実施面積(再掲)	163,000 ha	169,000 ha	175,000 ha	—	—	—	—	128,211 ha	[定義]「森林管理100%作戦」に基づき実施した間伐面積 [目標数値の考え方]2021年度までの「新ひょうごの森づくり」計画値を目標として設定
	実績値	135,804 ha	139,445 ha							
	野生動物共生林整備面積 (災害に強い森づくり面積の内数)	4,184 ha	4,534 ha	4,884 ha	—	—	—	—	3,374 ha	[定義]災害に強い森づくり事業計画(第3期)に基づき県民緑税を活用して整備する野生動物共生林の整備面積 [目標数値の考え方]災害に強い森づくり第3期対策(2021年度まで)計画値を目標として設定
	実績値	4,043 ha	4,463 Ha							

		バッファゾーン整備面積 (災害に強い森づくり面積の内数)	2,515 ha	2,815 ha	3,175 ha	3,565 ha	3,895 ha	4,225 ha	4,555 ha	1,811 ha	[定義]災害に強い森づくり事業計画(第3期)に基づき県民緑税を活用して整備する野生動物共生林の整備面積のうち人と野生動物との棲み分けを図るバッファゾーンの整備面積 [目標数値の考え方]災害に強い森づくり第3期対策(2021年度まで)計画値を目標として設定
		実績値	2,403 ha	2,778 ha							
		ため池整備により安全が確保された地区数	1,921 箇所	1,987 箇所	2,053 箇所	2,119 箇所	2,185 箇所	2,251 箇所	2,320 箇所	1,771 箇所	[定義]農業用ため池の点検評価を踏まえ改修に着手したため池数 [目標数値の考え方]ため池整備5箇年計画(H27~31)に基づき、全面改修整備着手(単年度66箇所)を実施する目標として設定
		実績値	1,845 箇所	1,883 箇所							
		あわじ竹資源エネルギー化目標数値(竹チップ燃料の消費量)(再掲)	500 t	500 t	500 t	—	—	—	—	t	[定義]竹チップを、ボイラー用燃料として消費した量 [目標数値の考え方]道路に隣接し、刈取り・搬出等の経費が採算ベースに抑えられる資源量
		実績値	93 t	109.7 t							

項 目／内 容	数値目標等										
	指標名／年 度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)	備 考	
自然とふれあう機会の提供											
<計画・構想の推進> ・六甲地域の活性化など自然とのふれあいの場の整備(重) ・各地域の資源を活かした環境創造型プロジェクトの推進(重) <公園等の利活用> ・自然歩道の維持管理 ・都市公園の利活用 ・人と森とのふれあいの場の提供	県内の自然公園年間利用者数(再掲)	37,100 千人	37,500 千人	37,500 千人	37,500 千人	37,500 千人	37,500 千人	37,500 千人	36,495 千人	[定義] 県内で指定されている自然公園の年間利用者数 [目標数値の考え方] 国立公園は直近5箇年の最高値、国定公園及び県立自然公園は平均値を目標値として設定	
	実績値	37,235 千人 (2018)	36,818 千人 (2019)								
	自然公園内のビジットセンター利用者数(再掲)	152,000 人	158,500 人	165,000 人	165,000 人	165,000 人	165,000 人	165,000 人	137,389 人 (2013-	[定義] 六甲山ビジットセンター、黒川自然公園センター、とのみね自然交流館の年間利用者数 [目標数値の考え方] 「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」に基づき目標値を設定	
	実績値	164,794 人	172,319 人						2017 平均)		
	六甲山ビジットセンター利用者数(再掲)	73,000 人	79,500 人	86,000 人	86,000 人	86,000 人	86,000 人	86,000 人	52,684 人	[定義] 六甲山ビジットセンターの年間利用者数 [目標数値の考え方] 「活力あるふるさと兵庫実現プログラム」に基づき目標値を設定	
	実績値	77,611 人	60,676 人								
	尼崎の森中央緑地への植栽数(累計)	99,900 本	107,100 本	115,000 本	120,500 本	128,900 本	141,600 本	141,600 本	86,000 本	[定義] 尼崎の森中央緑地に植樹された樹木の本数 [目標数値の考え方] 「尼崎の森中央緑地植栽計画」に基づき設定	
	実績値	95,000 本	96,838 本								

	県立都市公園の年間利用者数	11,684 千人	11,684 千人	11,684 千人	11,684 千人	11,684 千人	11,684 千人	11,684 千人	11,684 千人	11,684 千人 (2013-	【定義】県立都市公園の年間利用者数 【目標数値の考え方】直近5箇年の実績に基づき設定
	実績値	13,026 千人	10,335 千人							2017 平均)	
項目／内容		数値目標等									
国際的な仕組みの活用による地域保全	指標名／年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値 (2017)	備考	
<県境を越える取組> ・ジオパークの登録支援 <県内の取組> ・ラムサール条約湿地登録支援	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

行動計画4：行動計画を支える基盤整備の充実

愛知目標：1・2・5・9・10・12・13・15・19

SDGs：2・4・6・13・14・15

項目/内容	数値目標等									備考	
	指標名/年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値(2017)		
行動計画を支える仕組みの充実											
<市町・地域の計画的な取組の推進> ・各市町、地域での生物多様性地域戦略の策定 <新技術の導入> ・環境DNAやGIS等を用いた生物分布モニタリングの活用(重) <基礎データの更新> ・レッドデータブック・レッドリストの更新 ・ブラックリストの更新 ・生物多様性配慮指針の活用と更新 <普及啓発の推進> ・環境配慮型技術や工法を用いた公共事業等の推進 ・「ひょうご・人と自然の川づくり基本理念・基本方針」に基づく河川整備 ・共生のひろばの開催	各市町・地域での戦略策定数	53箇所	56箇所	59箇所	62箇所	65箇所	68箇所	71箇所	52箇所	[定義]市町あるいは地域レベルで生物多様性地域戦略が策定された数 [目標数値の考え方]過去の実績を勘案し、年3箇所を目標として設定	
	実績値	52箇所	52箇所								
	自然を活かした川づくり年間整備率(再掲)	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	87.2%	[定義]コンクリートを使わない、あるいはコンクリートを使用するが環境に配慮した川づくり年間整備延長/年間河川整備延長×100 [目標数値の考え方]10年間の平均整備率
実績値	89.9%	80.5%								90%以上を目標として設定	

項目／内容	数値目標等									
生物多様性保全のための予防的措置の充実	指標名／年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値(2017)	備考
<予防的取組の推進> ・県立人と自然の博物館のゾーンハンク事業 <拠点施設の活用> ・県立人と自然の博物館を支援拠点とした情報収集・提供 ・森林動物研究センターの成果の活用	県立人と自然の博物館年間利用者数	800,000人	800,000人	800,000人	800,000人	800,000人	800,000人	800,000人	870,563人	【定義】県立人と自然の博物館の年間利用者数 【目標数値の考え方】過去5箇年の実績値を基に設定
	実績値	832,059人	482,089人							
項目／内容	数値目標等									
生物多様性を保全する人材の充実	指標名／年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	現況値(2017)	備考
<日常生活での人材育成> ・ライフステージに応じた生物多様性に関する環境学習・教育の推進(重) <専門フィールドでの人材育成> ・学習指導者の養成 ・乳幼児期の環境体験を先導する指導者の育成(重) ・鳥獣対策の指導者の派遣や捕獲技術者の育成・配置(重) ・狩猟者の確保、育成の強化(重) ・里山林、田・菜園など地域での体験学習・教育の取組推進	持続可能な社会づくりを先導する人材	1,432人	1,476人	1,519人	1,562人	1,606人	1,649人	1,693人	1,358人	【定義】地球温暖化防止活動推進員、森林ボランティアリーダー、ナチュラルウォッチャーリーダー、自然保護指導員、鳥獣保護管理員、持続可能地域認定士の合計 【目標数値の考え方】2016年度(1,302人)比30%増を目標として設定
	実績値	1,513人	1,610人							
	森林ボランティアリーダー数	900人	950人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	1,000人	813人	【定義】基礎的な森づくりの作業を安全かつ的確に指導・監督できる人材数 【目標数値の考え方】ボランティア1万人に対し1,000人を確保・維持
	実績値	905人	985人							

・ひょうごecoフォーラムの開催(再掲)	ひょうごグリーンポーター登録者数	940 人	950 人	960 人	970 人	980 人	990 人	1,000 人	931 人	[定義]環境体験事業等を支援する「ひょうごグリーンポーター」として各県民局に登録されている人数 [目標数値の考え方]年10人(10地域×1人)の登録を目指して設定
	実績値	918 人	926 人							
	地域と協働してふるさとの自然の良さに気づく学習プログラムを実施した学校の割合	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	95 %	[定義]小学校3年生の環境学習事業で、地域と連携した学習プログラムを実施している小学校数 [目標数値の考え方]ふるさと意識をはぐくむために全校で実施することとし100%に設定
	実績値	97 %	100 %							
	ひょうご環境体験館利用者数	32,000 人	32,000 人	32,000 人	32,000 人	32,000 人	32,000 人	32,000 人	30,786 人	[定義]ひょうご環境体験館の入館者数+体験館が行う体験プログラム等の参加者数 [目標数値の考え方]過去最高の利用者数を維持
	実績値	32,139 人	4,727 人							
	環境体験事業(小3)、自然学校(小5)の全公立小学校での実施	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	[定義]県内全公立小学校のうち環境体験事業(小3)及び自然学校(小5)を実施している学校数 [目標数値の考え方]継続して全校で実施することとし100%に設定
	実績値	100 %	100 %							